

ガバナー月信

Governor's

Vol.02
2021.8.01

Monthly Communication

Rotary International District 2690

《2021-22》



SERVE TO CHANGE LIVES

2021-22 年度地区ガバナー

岩崎 陽一

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



鳥取県岩美郡岩美町 城原海岸

Contents

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 2……地区直前ガバナーへの感謝 | 5……地区担当委員長挨拶 |
| 3……地区ガバナーエレクトとしての1年が始まります | 8……My ROTARYに登録しましょう |
| 4……変化するロータリー | |





地区直前ガバナーへの感謝

地区ガバナー 岩崎 陽一

菊池捷男地区直前ガバナーにおかれましては、1年間ガバナーの重責を全うされ、数々の素晴らしい成果を上げられました事、誠にありがとうございます。

2019年3月にガバナーノミニー・デジグネートを突然拝命して以来、ノミニー、エレクトの時期を通じて、地区ガバナーとしての考え方や地区運営の方策等、様々な事を具体的にご教示頂きました事に、厚く御礼申し上げます。

私が思いますに、菊池地区直前ガバナー年度は未曾有のコロナ禍に始まり、コロナ禍の真只中で1年を過ごされました。各種研修会・クラブ訪問を含むあらゆる部分で新しい決断をされて来られたと思います。

＊地区大会始まって依頼のコロナ禍の中でのハイブリッド地区大会の実施

＊LYRA研修のYouTube開催

地区歴代バストガバナーが築き上げてこれた実績に敬意を払われつつも、決して過去の例に捉われることなく、新しい発想により地区組

織運営においてより一層の充実を図るべく努力され、成果を上げられました事に改めて敬意を表する次第です。

また、菊池地区直前ガバナーは私がエレクトの時より様々な会合に同席するよう配慮いただき、多くの情報を共有させて頂いた事は、私自身のガバナーに向けての計画立案を遂行するにあたり、大いに役立ちました。菊池地区直前ガバナーの1年間の成果については枚挙にいとまがないほどです。

菊池地区直前ガバナーの企画力・決断力・行動力は、歴代ガバナーの中でも傑出したものであり、これらの成果を引き継いでいく私にとりましては荷の重さを感じております。

ただ2年以上に亘りご教示頂きました様々な事を、当年度に活かせるよう努力して参る所存でございますので、今後も地区直前ガバナーとしてご指導賜りますようお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。





地区ガバナーエレクトとしての1年が始まります

地区ガバナーエレクト 友末 誠夫

(1999年入会後RC会長、そして第2690地区GSE委員長を経験)

私の少年期の出来事が事業開始の出発点となって以来60年間、農業食品（鶏卵）の商品化機械装置技術開発を主導し、その製造販売にグローバルに取り組み、日本や海外の新しい時代の食文化の構築の一端を担って来ました。

気が付くと、歳には勝てないことを感じる年齢になっていました。パソコンを軽快に操る息子の姿を見て、会社の業務もデジタル化時代の到来を意識するようになり、思い切って一人息子を会社の後継ぎにして、私は本業から完全に身を引く決断をしたのです。以来10年余り、残りの人生を家内と共に安堵の日々を送ることが日常となっていた昨年の夏の終わりの頃でした。私の名前が地区ガバナー候補として上がっていることを知らされ、全身に動揺が走りました。私は「その様な器でもなく、まして能力も行動力も無い。」と断りましたが、なかなかそうはならず、暫く眠れない日々を送っていましたところ、私と同年齢域のトランプ氏とバイデン氏の米国大統領選挙で見せた年齢を感じさせない軽快な双方の対戦動作に刺激され、思わぬ勇気をもらいました。

以後、今年6月迄、毎月2回以上開催された地区関係の種々の会議やガバナーノミニ研修会に出席し、近年のロータリー活動や組織構成の内容をさらに知ることが出来、その規模の大きさ、そしてロータリー活動の運営に取り組む関係者の皆様方の力量に驚かされました。

我が津山RCの会員数は近年増加傾向にあります。4～5年経った会員にロータリークラブに

ついついの見解をたずねると「ロータリークラブはあらゆる職業人が年齢差を超えて集う憩いの場であり、ロータリーの精神の下に開かれた大人の規律正しい社交場として組織的に世界に繋がっている。週一度1～2時間、時間を割いていろいろな職種の人たちが集まり、その顔を見るだけで、日常の仕事から解放され様々な英知を養うことが出来る…」と、語るのです。

ロータリーの実態深層を知らない彼等にロータリー活動の取組みに戦略的行動を必要以上に求めて業務的に行いますと、離脱者が増え、会員数の減少を招くことになると思います。会員数増加には「自由で開かれた大人の社交場としての魅力のアピール」これこそが会員数増加に効果的であると私は考えるのです。

今月より岩崎陽一地区ガバナー年度が始動します。「各RC訪問日程が決められ、それぞれのRCに訪問出来るのが楽しみだ！」と、先般のズーム会議で岩崎氏が語った熱い心意気が間もなく私達に示されるのです。

私は昨年度の菊池捷男地区ガバナー、そして地区ガバナーエレクトの岩崎陽一氏が務められた重責を参考にして、今年度地区ガバナーエレクトとしての技量の充足に努め、1年後に控えた地区ガバナーとしての大役を果たせるよう研鑽して参ります。

私が目指すのは、各自の自然で素直な人間愛に富んだロータリー活動を尊重し、自らの人生をリフレッシュしてもらうことです。そのためにはロータリーの原点、4つのテスト及び会員の行動規範を日常に大いに生かしながらロータリー活動を楽しんで頂くことを願っているのです。



変化するロータリー

RI理事エレクト 佐藤 芳郎

岩崎地区ガバナー年度の最初のひと月が経過しました。皆さま方には年度テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を実践されていることとお慶び申し上げます。

ポール・ハリスは「ロータリーは進化し続けなくてはならない…」と言ったそうですが、ロータリーの第2世紀に入ってからここ数年、国際ロータリー（RI）は大きく変化してきています。まず「RIの戦略計画」についてです。かつての戦略計画はロータリーの中核的価値観、すなわち親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップのもとで、クラブ支援、公共イメージ向上、人道的奉仕の3点を戦略目標に掲げていました。ところが数年前に同じ中核的価値観を基礎にしてロータリーの基本を遵守しながら「ロータリーのビジョン声明」が公表され、実質的に戦略計画が更新されました。そこでは「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」としてロータリーおよびロータリアンの向かうべき目標が明示され、4項目の戦略的優先事項（①より大きなインパクトをもたらす ②参加者の基盤を広げる ③参加者の積極的なかわりを促す ④適応力を高める）を定めました。RIではこれを「ロータリーの行動指針＝Action Plan」と呼び、公共イメージ向上の標語「People of Action（世界を変える行動人）」のもとで、ロータリアン一人一人が率先して優先事項を実践することが強く求められています。すなわち、率先して行動する人々が集合したものがロータリークラブだからです。「ロータリーに見物席はありません！」と言われます。

第2は、ローターアクトクラブ（RAC）が新たにRIの構成メンバーになったことです。RACとローターアクターの若い力や発想力をロータリー活動の全般に生かすのが目的です。2019年の国際協議会ではローターアクターの代表が、世界各地から集まった地区ガバナーエレクトと、初めて机を並べて研修と討議に参加し、それ以降も参加者に大きな刺激をもたらしています。ローターアクターの資格のままで、ロータリー会員になることも認められました。また、低額ですがRACも人頭分担金をRIに納める義務が出てきます。RACがRIの中でどのような地位を占め、RIまたはロータリー財団の恩典をどの程度享受できるのか等はこれからですが、今後は少なくとも各RACが受け身でなく若い発想で自発的・積極的な奉仕実践を進め、名実と

もにRIの一員となる努力が不可欠となります。

さらに現在RIは「Shaping Rotary's Future = SRF（ロータリー未来形成）」として、ロータリー全体の機構改革を検討中です。基本的理由はいくつか挙げられています。①現在の地域割は文化・民族・言語などの地域性と一致しないこと②RI組織の多層化・複雑化もありクラブとの間の一体感や迅速感が充分ではないとされること③地域リーダーの任期を複数年として、継続的な地域活動を維持すること等です。現在のRI案では日本は日本語圏として1つの地域（Region - RI案は世界で30地域弱）とし、選挙で選出される3年任期の地域カウンスルがまとめます。さらに30～50クラブを単位とするセクションを設けて、2年任期のセクショナルリーダー（選挙で選出され、「ガバナー」を呼称とする案もある）が傘下クラブを管轄します。（理事選出のためのゾーンと理事制度は据え置かれそうです）そして、当面は英国&アイルランド、オーストラリア、米国東北部の3地域でパイロット運用するとされています。詳細はまだ不明ですが、辰野RI理事は、日本では地区ガバナー制度は有効に機能していること、仮に変更するとしても会員数9万人弱の日本全体が単一の地域とされることは他地域とのバランスがとれないので、2～3地域に分けるように再考されるべき事等を強く主張されており、まだまだ紆余曲折がありそうです。

RIは会員数が1.2百万人前後で20年以上に渡って低迷していることに強い危機感を持ち、増強・拡大を内部向けの最優先事項としています。会員減少の目立つ米国やヨーロッパにおいて、また世界中の若い人達にとっても、魅力ある組織づくりを目指しているようです。

以上、佐藤が個人的に理解している最近のロータリーの変化の一端について述べましたが、ロータリー制度の中心は個別ロータリアンと個別ロータリークラブであることに変更はありません。皆さま方には、親睦と素晴らしい奉仕からなるロータリー活動を活発に実践され、お一人お一人がロータリアンとしての資質をますます高め、また併せて貴クラブを質的にも量的にも育てていただくように、あらためて心からお願い申し上げます。

地区担当委員長挨拶

地区会計長・地区資金委員会委員長



葉狩 弘一

岩崎ガバナー年度の地区会計長を務めさせていただきます葉狩弘一です。よろしくお願いします。

コロナの影響でロータリー活動も自粛制限され、よく理解できないまま不安のスタートとなりましたが、より一層緊張感をもって取り組みたいと思っています。

そのためにもガバナー事務所と連携を取り、皆さま方からお預かりした地区の大切な資金を、効率よく透明性をもって適正に処理していきたいと思ひます。ご支援・ご協力のほどよろしくお願いします。

地区会員増強委員会委員長



岡本 安量

地区会員増強委員会委員長を務めさせていただきます岡本安量です。会員増強はクラブにとって永遠のテーマであり、クラブ運営には必要不可欠であります。しかし、現在のコロナの状況において、大きな影響が出ていることと思ひます。今こそ地区内の情報共有が必要ではないでしょうか。成功例、失敗例、戦略

など各クラブの情報を交換できる環境を作りたいと考えています。特に、コロナ禍の今期は退会防止への取組みにも注目したいと考えています。

情報収集・共有を行い地区内の各クラブ会員がロータリーの楽しさを再確認できるような1年にしたいと思ひます。どうぞよろしくお願いします。

地区雑誌広報・公共イメージ委員会委員長



児島 良

シェカール・メータRI会長は、現在120万人の会員を130万人に増やす目標を掲げています。そのためには、まずロータリーの公共イメージを向上させ認知度を上げることが必要です。しかし現実として「ロータリー」という名は知っていてもその活動内容や地域社会への貢献について知る人は少ないように感じます。ロータリーの活動及びその独自性、意義を理解しやすい形で多くの人に伝えることが必要です。

購読を義務付けられている地域雑誌「ロータリーの友」は、ロータリーに関する多くの情報が掲載されています。ロータリアンの情報収集のみならず、新会員を勧誘する際のツールとして活用していただきたいと思ひます。

当委員会は、地区及びクラブの会員増強委員会はもとより各委員会と連携し、奉仕活動を通してロータリー・ブランドを確立し、仲間を増やす環境をつくるのが最大のミッションと考えています。

地区職業奉仕委員会委員長



宮本 孟尚

ロータリーの5大奉仕のひとつである職業奉仕は、ロータリー特有のものであり、ロータリーの目的の第2項に掲げられている重要なテーマです。

しかし、他の奉仕は「～に対して奉仕する」ということに対し、職業奉仕は「職業」という「利己」と、「奉仕」という「利他」の正反対の二つの概念が合体しており、イメージしにくいものとなっています。

各ロータリークラブでは、例会においてロータリーソング「四つのテスト」と「我らの生業」を斉唱されていると存じますが、これこそ職業奉仕の概念を表しているのではないかと思います。

当委員会といたしましては、地区内各クラブの職業奉仕の取組み、考え方などをお伺いし、幅広く共有することにより、職業を通じて社会貢献につながるよう推進していきたいと考えています。

地区社会奉仕・RCC委員会委員長



米花 廉友

地区やクラブの有意義な社会奉仕活動が進められる為に、社会奉仕プロジェクト及び地域社会共同体(RCC)の現状把握と今後の推進に必要な意見の集約を諮っていきます。

その為にも会議を開く必要がありますが、コロナの影響もあり一堂に集まる事が出来ませんので、Zoom会議でのご協力を各委員様をお願い致します。

社会奉仕は、ロータリーにおいて地域社会に認知してもらえる活動であり、地域の発展に寄与し、公共イメージの向上とともに仲間を増やす原動力になります。岩崎地区ガバナーがよく言われる「温故知新」の精神の基、地域社会へしっかりと目を向け活動を進めていきたいと考えています。社会奉仕活動に各クラブ、各会員が共に積極的活動に取り組んで頂く事を期待しています。

地区国際奉仕委員会委員長



倭島 昭博

ロータリーの奉仕部門の一つである国際奉仕は、国際理解、親善、平和を促進することを目的としています。地区国際奉仕委員会は、国際奉仕へのクラブの参加を促すという重要な役割を担っています。

地区国際奉仕委員会は、クラブや地区による国際奉仕への参加を促し、プロジェクトやグローバル補助金申請に役立つリソースや最も効率のよい方法を紹介しています。合わせて国際奉仕プロジェクトの協同提唱者をクラブが見つけれられるよう援助しています。

このように、地区国際奉仕委員会は、未だ国際奉仕活動を行っていないクラブが挑みやすいように支援を行うこと、また現在活動中のクラブに対しても引き続き支援を行うことを通じて活発な地区活動に貢献したいと考えています。



地区担当委員長挨拶

地区米山記念奨学委員会委員長



岡田 信俊

米山記念奨学委員会委員長を拝命致しました岡田信俊です。米山記念奨学は、米山梅吉氏の功績を記念し、多くのロータリアンのご支援のもと長年にわたり大きな実績を残している事業であります。歴史や意義を多くの方にご理解をいただきながら、委員長としての職責を果たしたいと考えています。

私は、米山奨学生のカウンセラーを務めたことがあります。当時はクラブ内での行事はもとより、出身国からの訪問団の通訳をしていただくなどお互い楽しく有意義な時間を共有しました。卒業と共に日本国内に就職し、勿論米山学友になられ付き合いも継続しています。

このように、どの奨学生も素晴らしい人材であり、将来母国と日本の架け橋となって頂けるものと確信しています。

この一年はコロナ禍の元での委員会活動となりますので、皆さまのご助言、ご協力をいただきますようお願いいたします。

地区青少年交換委員会委員長



小林 一

青少年交換は、ロータリーが青少年を対象とする奉仕の一環として毎年実施している事業活動です。“鉄は熱いうちに打て”のことわざ通り、成長期にある青少年が海外生活による異文化交流を通じて学ぶ事柄は多大了。青少年が国際的感覚を取得して社会発展に貢献することはもとより、ロータリアンにとっても当該奉仕を通じて異文化交流を深めることには大きな意義があります。

コロナ禍中で困難が伴いますが、地区青少年委員会では所期の役割を果たすべく事業推進にあたりますので、ご協力とご支援をお願いいたします。

地区青少年奉仕委員会委員長



田中 好洋

今年度地区青少年奉仕委員長を拝命致しました田中好洋と申します。

青少年奉仕はロータリーの5大奉仕部門の一つですが、その内容は「標準ロータリークラブ定款第6条」に書かれています。

当地区では、定款に書かれている社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトを担うインターアクト、ロータリーアクトの両委員会、世界平和と異文化の理解を深め育むプロジェクトを担う青少年交換委員会が活発に事業を展開されています。

青少年奉仕委員会は、指導力養成活動プログラムのRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）などを通じて青少年の育成に務めていきたいと考えています。

また、来年5月に鳥取で開催予定のRYLAの全国大会のお手伝いにも尽力したいと思います。

地区インターアクト委員会委員長



高橋 哲夫

本年度、地区インターアクト委員長を務めます鳥取RCの高橋です。

インターアクトクラブは、12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブで、楽しく活動しながら奉仕の心と国際理解について学び、リーダーとしての力を身につけることを目指しています。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により地区大会等が中止され、今もなお大きな影響を受けていますが、各クラブとも創意工夫を重ね、コロナ禍での活動に前向きに取り組んでいます。7月には初の試みとして、Web会議により地区大会が開催されます。

本年度もインターアクトクラブの発展と生徒たちの成長に向けて、精一杯の支援をしていきたいと考えておりますので、ロータリアン皆様の多大なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区ロータリーアクト委員会委員長



塚田 隆

2021-2022年度地区ロータリーアクト委員会委員長の拝命を受けました、鳥取北ロータリークラブの塚田隆です。ロータリーアクトクラブ（以下RAC）は青年男女のためのロータリークラブが提唱する奉仕クラブです。個々の能力開発や地域社会への取り組み、また奉仕活動と親睦を通じ、全世界の人々の間により良い信頼関係を推進するための機会を提供することを目的としています。

さて、現在RACはロータリークラブ同様に会員数の減少、そして会の維持の困難等の問題を有しています。それは他の青年団体にも言える事です。その原因の一つとして若者のSNS等を代表とするコミュニケーションの取り方の変異があります。言い換えればリアルな場面でのコミュニケーションを避ける傾向があるということではないかと推察します。

そのような時勢の中で私達地区ロータリーアクト委員会はRACを提唱クラブだけではなく、提唱されていないロータリークラブにおいても、RACの若い力を活用していただき、その地域、そして地区で育てる事を念頭に置いていただきますことを各ロータリークラブにお願いします。現状にあった活動を地区内のRACと、ロータリークラブが共に協力しながらENJOYし、お互いが活性化する活動をしていきましょう。

地区学友委員会委員長



西尾 正博

米山奨学をはじめインターアクト、ロータリーアクト、青少年交換、RYLA、平和フェローなどロータリーのプログラムへの参加経験者が「ロータリー学友」と呼ばれています。

地区委員会の役割は、学友とロータリーが協力の機会を持つよう促すことにあると考えています。そのためには、まず地区内にいる学友を把握する必要があります。その情報をもとに学友が参加できる地区内行事についてお知らせをする。また、学友の情報をクラブに紹介することでクラブは例会や行事に学友を招待できるようにします。

学友とクラブのつながりは、クラブにとって活性化となり、学友にとってはロータリアンと交わることで視野が広がります。

君子の交わりは淡きこと水のごとし。淡白であるがその友情はいつまでも変わりません。

人種を超え、世代を超えてそのようなかわりをつないでいくことが当委員会の役割と考えています。

地区担当委員長挨拶

地区補助金小委員会委員長



森下 哲也

今年度、地区補助金小委員会委員長を務めさせていただきます鳥取西RC所属の森下哲也と申します。当委員会はロータリークラブが行っている奉仕活動のうち、主に地域で貢献する奉仕プロジェクトを推進する事業をサポートする委員会です。今年度も34のクラブから申請を頂きました。

今年度実施される各プロジェクトは昨年同様に新型コロナウイルスの影響を受け、当初の予定から変更を余儀なくされる懸念もありますが、会員皆様のご英断と創意工夫で当初の目的を達成されますことをご祈念申し上げます。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

地区ロータリー財団資金管理小委員会委員長



森原 義博

地区ロータリー財団資金管理小委員会委員長の森原義博です。クラブの活動に地区補助金としてロータリー財団の資金が活用されています。補助金は皆さまからお預かりした貴重なお金ですので、徹底的に管理することが必須です。当委員会は、補助金の管理と、所期の目的に沿って適切に使用されているか監督することを課せられた委員会です。また、財務管理計画の作成、地区の覚書（MOU）の実施の援助、補助金管理セミナーの実施、クラブの参加資格認定の援助などを任務としています。

各ロータリークラブが、地元や海外の地域社会のニーズに応えた活動ができるよう、地区補助金関連の委員会と連携して当委員会の責務を果たしていきます。

地区ポリオプラス小委員会委員長



坂本 直

地区ポリオプラス小委員会委員長を拝命致しました坂本直と申します。当委員会は、ポリオ撲滅活動をロータリアンや地域社会の人びとに推進し、募金活動を企画します。ロータリーはその取り組みにより30年間で発症数が99.9% 減少という大きな成果を挙げています。「ポリオのない世界」の実現はもう目の前に来ています。「世界ポリオデー」に向けて当地区全クラブでポリオ撲滅に関わるイベントを開催頂くよう呼びかけます。

新型コロナウイルス感染症の撲滅に対しても懸命な取り組みが医療従事者を中心に行われております。ポリオ撲滅とコロナ禍終息への貢献の想いをより一層高めていただき当活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区奨学金・平和フェローシップ小委員会委員長



伊木 恭憲

地区奨学金・平和フェローシップ小委員長を仰せつかりました伊木恭憲です。奨学金・平和フェローシップ小委員会は、R財団の国際的な人道的奉仕活動、地域社会での多様な奉仕活動および世界平和と開発に貢献することが期待される人材の養成に鑑み、地区R財団委員長とともに、地区補助金・グローバル補助金による奨学生およびロータリー平和フェローの候補者の開拓・選考・オリエンテーションを実施することが使命であります。しかし、昨年来の新型コロナウイルス感染拡大にともない、会合等も困難状況が続いております。私が所属しているクラブでもZ o o mを十分に活用しておりますが、私自身ホスト役を担うなど、WEBミーティングにおける経験だけは備えているつもりです。つきましては、当委員会もWEB等を有効利用した活動が続けてまいりたいと思いますので、皆様どうかよろしく願いいたします。

地区資金管理小委員会委員長



牧浦 康寛

資金推進小委員会は、地区における財団への寄付の増進と、寄付者の表彰・認証を管理します。ロータリー財団は皆様からのご寄付で成り立っています。ご寄付は皆様のクラブの奉仕活動への大切な原資となり、地元や世界の要望に応じ、地域および国際社会へ大きく貢献しています。岩崎陽一ガバナーの地区重点目標

であるロータリー財団への支援、米山記念奨学会への理解並びに積極的な支援、ポリオ根絶への協力等を達成する為に皆様のご理解と温かいご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

お知らせ

- 1、岡山旭川ロータリークラブのメールアドレスを変更しました。

旧：o-asahigawa.rc@dune.ocn.ne.jp

新：info@okayama-asahigawa-rc.com

- 2、岩崎ガバナー事務所 office@2021-rid2690.jp

友末ガバナーエレクト事務所 office@2022-rid2690.jp

月信7月号（Vol.1）の訂正とお詫び

以下の誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

P7 『ロータリー特別月間』

〔正〕 地域社会の経済発展月間 〔誤〕 経済と地域社会の発展月間

〔正〕 平和構築と紛争予防月間 〔誤〕 平和と紛争予防/紛争解決月間

P11 『地区ガバナーエレクト事務所案内』

〔正〕 TEL 0868-35-2690 〔誤〕 TEL 0868-32-2690

My ROTARYはロータリアンの道しるべです

01

ご登録いただくことでロータリーの活動や地区・クラブ運営に必要な情報やデータを随時入手できる便利なシステムです。

02

豊富な資料やニュースレターの購読を通してロータリーの知識が豊かになります。

03

地区・クラブの各委員会委員のために、My ROTARYラーニングセンターにそれぞれコースが設定されています。学ぶ事で円滑に委員会運営ができます。

04

ロータリアン個人としても、My ROTARYラーニングセンターから多くの知識や情報を得ることができ、スキルアップにつながります。

RI第2690地区は、My ROTARYの登録100%を目指しています。

My ROTARY 登録手順

- 01 → クラブ事務局があらかじめ会員の氏名・メールアドレスを登録する
- 02 → My ROTARYを検索し入室する。
「My ROTARYへようこそ」画面の「アカウント登録」をクリック
- 03 → アカウント登録情報を入力する
(注) クラブ事務局が登録した氏名、メールアドレスを半角英数字で入力する
※クラブ事務局が登録した氏名、メールアドレスと違うと受け付けません
- 04 → 「国際ロータリー」から登録したメールアドレスにメールが届く
- 05 → 届いたメールをクリックすると「ロータリーウェブサイト:登録完了までもう少しです」が届くので「アカウントを有効にする」をクリック
- 06 → アカウント設定でパスワードを設定する。
- 07 → 「セキュリティ保護用の質問」を一覧から選び「答え」を入力した後「CREATE ACCOUNT」を1回クリックする
- 08 → 「続ける」のボタンをクリックすると登録完了
★詳しくは、ネットで検索してください。

